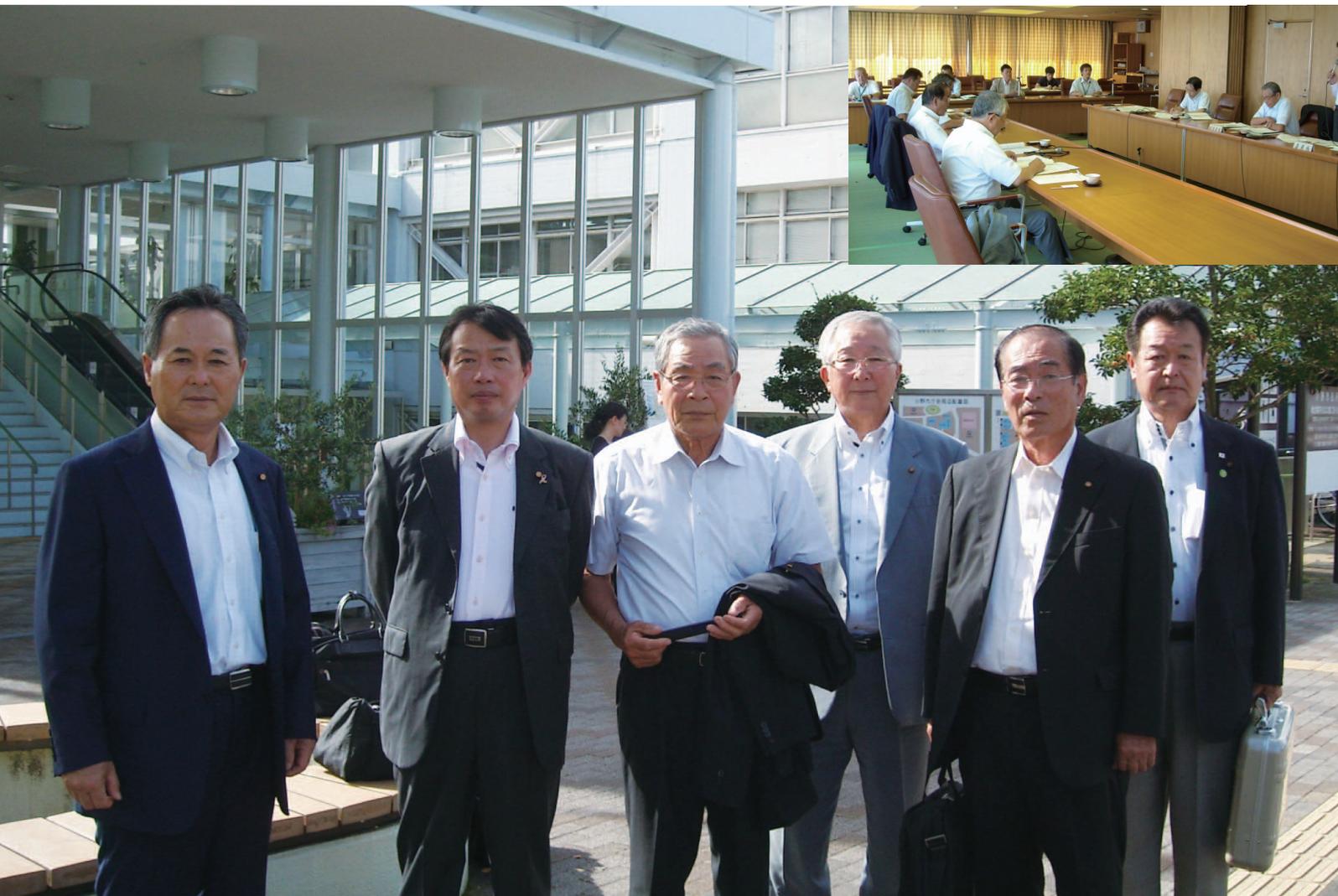




神埼市 議会だより



議会運営委員会視察研修

(兵庫県小野市及び大阪府高石市で視察研修)

9月定例会

次回定例会は11月28日開会予定です。

目次

補正予算「これが聞きたい」	P2～P3
各常任委員会に付託された議案「これが聞きたい」	P4～P5
賛否議案・意見書の紹介	P6～P8
議会報告会の結果報告	P8～9
委員会研修報告及び活動報告	P10
一般質問(13名の議員が登壇)	P11～17
議会のうごき	P17
編集後記	P18

第32号

平成26年11月12日
2014年

補正予算

一般会計 149億3745万円に

財政調整基金5億6939万円を積立

総額22億5956万円となる

地元購買力推進券事業や

幼稚園就園奨励補助金など

一般会計

2億8554万円を補正

平成26年第4回神崎市定例会は、9月5日から9月24日までの20日間の日程で開催された。

提出された議案は、23件で、その内報告案件1件、諮問案件1件であり、その議案の中には、学習用情報端末機（タブレット端末）181台購入に伴う財産の取得を行うもの。

神崎市中央公民館改修工事の一部設計変更に伴い請負契約の締結を行うもの。

平成26年度神崎市一般会計歳入歳出決算認定について、他5

件の認定について提出されましたが、閉会中の継続審査となりました。決算認定の審査については、11月6日から11月14日まで、11月6日から11月14日まで行う予定。一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出総額に

2億8554万円を追加し、補正後の予算総額を149億3745万円とするもので、当初予算比1・9%増。特別会計補正

予算5件の提案も含め、15件を可決。閉会中の継続審査6件を議決し、9月24日に閉会した。

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	2億8554万円	149億3745万円
特別会計	国民健康保険	41億8419万円
	国民健康保険診療所	9094万円
	後期高齢者医療	3億7812万円
	簡易水道	362万円
	下水道事業	12億563万円

これが聞きたい！



**多面的機能支払交付金事業
(旧農地・水保全管理支払
交付金事業)**

469万円

Q 多面的機能支払交付金事業の新制度移行に伴う81集落のうち、資源向上支払い地区の内訳は。

A 神崎町28地区、千代田町15地区、脊振町8地区となっている。

Q 多面的機能支払交付金事業と地域協働推進事業の区分は。

A 多面的機能支払交付金事業は、農業関係の補助金をいただいておりますので、原則は農振がかかっているところとなつています。

地域協働推進事業は、それに該当しないところとなつていいます。要件は、「市道に認定されているところ」「準用河川」で、本来であれば市が管理していく部分になる。多面的機能支払交付金事業

は市の負担率が25%になっているが、地域が取り組まれるには、協定を結んで頂いて計画に基づき実施。地区の負担はなし。



多面的機能支払交付金事業の作業状況

神崎市地元購買力

推進券事業

750万円

Q 「地域の活性化と地元工業の活性化を図る」とあるが、小売店に還元できているのか。

A 商品券の販売を年末にすることで、商品を多く買う時期

に発行して市内で買い物をしていたきたい。

Q 昔からある小売店の活性化も図る必要があると思うが。

A 市内の大型店と小売店の購買差の縮小は、非常に難しいが、昨年は市内157店舗でプレミアム商品券の利用実績があつている。

神崎駅モニユメント

メンテナンス工事

160万円

Q 卑弥呼の像は、何でできているのか。この補修をしてどれ位もつのか。

A 銅合金で、銅を主成分に銅と鈴の合金で出来ている。今後も10年おきにメンテナンスをする必要があると考えている。



卑弥呼の像

神崎市身近なユニバーサルデザイン(トイレ洋式化)

推進事業

260万円

Q 県から100%補助ということだが、市と県から同じような補助があると理解してよいか。

A ダブル補助は、ありません。市が県に補助金申請を行ない、県から市に補助金いただき、自治公民館を改修する自治会へ交付することになっている。



トイレ洋式化の改修箇所

各常任委員会のQ & A

平成26年9月定例会(議案第52号～60号)

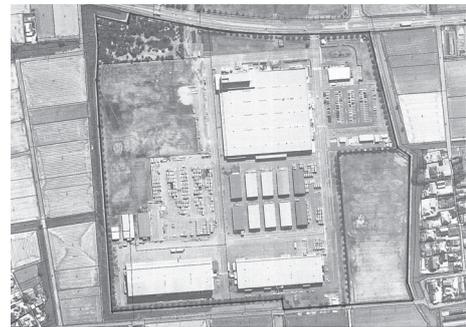
総務常任委員会

《議案第52号》(全員賛成)

神崎市地域防災計画に定める大規模工事等の用途及び規模を定める条例の制定について

Q この条例に係る企業は何社あるのか、またどのような防災計画の策定になるのか。

A 面積が1万㎡以上の大規模な事業所が対象で、神崎市では九州積水工業1社で、事業所で浸水計画を策定するようになっているが、市として事業所にどのような防災設備が必要なのか、水没の際にどのようなものが教訓になり、どのような処置が必要なのか調査したい。



九州積水工業株の全景

産業建設常任委員会

《議案第57号》

神崎市道路占用料徴収条例の一部改正について

Q 太陽光発電及び風力発電設備を設けた場合に徴収となるが、神崎市で占用料が発生するのはどこか。

A 大きなのり面や有明沿岸道路のような盛土工事をしているような場所に設置するケースが想定されるが、神崎市にはそのような場所は見受けられない。

文教厚生常任委員会

《議案第54号》(賛成多数)

神崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

Q 小規模保育の認可はどこが審査を行うのか。

A 小規模保育施設の認可は市町で行う。

Q 国の予算確保ができていない状況で、市の条例制定が先行している。この状況をどのように考えているか。

A 平成27年4月から施行となっています。予算については、平成27年10月から消費税10%の検討がされています。今後、国で検討される。

各常任委員会のQ & A

《議案第55号》（賛成多数）

神崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める
条例の制定について

Q

家庭的保育事業は、どのような形態の保育になるのか。家庭的保育士はどのような資格を持った人が保育を実施するのか。

A

家庭的保育は、5人以下の保育形態で、資格としては、保育士の免許は必要な市長が行う研修を受講することになっている。

《議案第56号》（全員賛成）

神崎市保育の必要性の認定基準を定める条例の制定について

Q

神崎市では保育の認定基準について、保護者は1ヶ月に60時間以上労働することを規定しているが、国は48時間を基準としているが参考にすべきではないか。

A

市においては、最低の就労時間として、週に15時間の4週を基準として1日3時間のパートと最低賃金を掛け合わせ4万円と少しの収入となり、そのくらい働かないと子どもを預ける意味合いが少ないと判断し、60時間としている。

《議案第58号》（全員賛成）

神崎市放課後児童健全育成事業の設備運営に関する基準を定める
条例の制定について

Q

今回の条例制定によって、現在の放課後児童健全育成事業で改善すべきものがあるか。

A

放課後児童クラブは、国の基準を基に神崎市の実施要項に基づいて実施しており特に改善すべきものはない。



賛否があった議案を紹介します。

議案第54号 神崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

賛否一覧表 ※議案について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	永沼 彰	山口 義文	西原 正剛	宮地 明	箕原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	廣瀧 恒明	木原 憲治	松本 軍二	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義
議案第54号	可決	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×

反対討論 (佐藤知美議員)

今回の条例の制定は、来年4月から実施される子ども・子育て支援制度に伴う子ども・子育て関連3法案に基づく条例制定であります。平成26年内閣府で第39号特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準に基づいて今回の条例がつけられています。

しかし、市町村が責任をもって保育を行ってほしいという保護者の運動、あるいは施設関係の運動が実って児童福祉法第24条が残っています。この第6条の3で、この「子ども」に該当する「小学校就学前子どもに該当する支給認定子どもの総数が、当該特定教育・保育施設の同項第2号又は第3号に掲げる小学校就学前子どもの区分に係る利用定員の総数を超える場合においては、支給認定に基づき、保育の必要の程度及び家庭等の状況を勘案し、保育を受ける必要性が高いと認められる支給認定子どもが優先的に利用できるよう、選考するものとする。」で、ここに市町村という言葉がありません。定員総数を超えた場合には、保育所が入所を選考します。今回の条例と現状とは違うということの意味を意味して、児童福祉法第24条があるならば、市町村が責任を持って選考するという文言を入れるべきであり、そうでなければ、現状とはそぐわないということを指摘して反対討論とします。

議案第55号 神崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

賛否一覧表 ※議案について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	永沼 彰	山口 義文	西原 正剛	宮地 明	箕原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	廣瀧 恒明	木原 憲治	松本 軍二	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義
議案第55号	可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×

反対討論 (佐藤知美議員)

現状から見た場合について、神崎市の保育園、幼稚園、全ての園舎で給食をつくって配食しており、子供たちにはアトピー、あるいは食物アレルギーがある中で、自園するのが最適です。しかしながら、今回の条例制定では、食事の提供の特例で利用乳幼児に対する食事の提供について、自園以外の特定の施設、搬入施設、こういったものを持って家庭的保育事業所等に搬入する方法により行うことができるということで、現行から後退をする。

もう1点、家庭的保育事業、小規模事業所等の保育士の問題、保育士については、国家試験の保育士ではなくて、市町村が定める研修を受けた家庭的保育士による、非常に曖昧な認定で保育がなされている。責任はいったいどこが取るのかという問題も含めて、反対討論といたします。



賛否があった意見書を紹介します。

意見書第 8 号 佐賀空港の「軍事基地」化に反対する意見書（案）

賛否一覧表 ※意見書について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	永沼 彰	山口 義文	西原 正剛	宮地 明	箕原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	廣瀧 恒明	木原 憲治	松本 軍二	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義
意見書第 8 号	否決	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○

反対討論（田原和幸議員）

佐賀空港利用に関し、自衛隊導入予定のオスプレイ 17 機、目達原駐屯地へのヘリ 50 機移駐、米軍普天間基地の移設実現までの暫定的使用、そういう国の考え方がしめされました。

私は、国からの説明を受けて佐賀県が大いに考慮すべきこと、次の 2 点を挙げて、意見書採択に反対するものです。第 1 点、日本の安全保障上、大きな負担を担ってきた沖縄の基地負担軽減に対する協力に大きな期待があり、これに応えることも考慮すべき。

第 2 点、佐賀空港の新たな利活用策たり得ること。また、その経済的効果に対し、歓迎の声が数多くある事実も考慮すべきである。

賛成討論（佐藤知美議員）

今回のオスプレイ、自衛隊ヘリ 67 機の配備については、全国的に見ても千葉県木更津、沖縄の普天間に次ぐものであり、このような軍事基地を今の県営空港につくろうとしていることに大きな問題がある。

反対討論で沖縄の負担軽減が言われましたが、沖縄の元自民党県議会議長の仲里さんが佐賀に来られ講演があり、「負担軽減どころか、より一層沖縄の苦しみ、そして住民のあの被害を佐賀空港、佐賀近辺にもたらすものになる。何ら沖縄の負担軽減になることはない」と明言されています。

次に、新たな利活用と言われましたが、70 機近くのオスプレイ、自衛隊機が訓練を行えば騒音の問題、飛行機燃料の漏れなど有明海の家業の被害も想定されていることを述べて賛成討論とします。

意見書第 9 号 佐賀空港へのオスプレイ配備についての情報開示と配備には県民の理解を前提とするよう強く求める意見書（案）

賛否一覧表 ※意見書について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	永沼 彰	山口 義文	西原 正剛	宮地 明	箕原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	廣瀧 恒明	木原 憲治	松本 軍二	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義
意見書第 9 号	否決	/	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○

反対討論（白石昌利議員）

今、佐賀県、また佐賀市、そして近隣の自治体、その関係団体が慎重審議されており、こういった内容につきましては、今後、明確な説明、そして情報開示がされると私は思っております。

この経過については、さまざまな媒体、例えば、新聞、テレビ、いろんな形で皆様のほうにお知らせというか、情報開示がされていると私は思っております。

そういった中で、この近隣自治体である神崎市は、もっとその動向をしっかりと見据えて、それからでもこういった意見書の提出は決して遅くはないと思っております。今後、しっかりとした動向、これを見きわめた上で私は判断をするべきということをお願いして、反対の討論とさせていただきます。



神崎市民の願いを意見書にして国に届ける

- 意見書第4号 「手話言語法」制定に求める意見書(全員賛成)
- 意見書第5号 参議院選挙制度改革に対する都道府県単位の制度を堅持することを求める意見書(全員賛成)
- 意見書第6号 農業・農協改革に関する意見書(全員賛成)
- 意見書第7号 城原川の治水対策・方針の早期決定を求める意見書(全員賛成)

平成 26 年度神崎市議会 議会報告会を開催しました ～ご参加ありがとうございました。～

報告会事務局

座長 廣瀧 恒明 副座長 田原 和幸 事務局長 白石 昌利



脊振会場

神崎会場



千代田会場

会 場	日 程	出席議員
脊振会場	平成 26 年 8 月 26 日	西原・宮地・中野・廣瀧・木原・佐藤
神崎会場	平成 26 年 8 月 27 日	藤瀬・野口・野副・田原・山田・福田
千代田会場	平成 26 年 8 月 28 日	箕原・白石・原口・松本・片江・原

※永沼議長・山口副議長、報告会事務局は全会場出席

8月26日（火曜日）脊振公民館を皮切りに、8月27日（水曜日）神崎庁舎3―3会議室、8月28日千代田庁舎2―2会議室、3地区で開催いたしました議会報告会に市民多数の皆様にご参加いただきました。ほんとうに有難うございました。心から感謝申し上げます。議会からは平成26年度一般会計補正予算及び神崎市の主要施策についての説明後、参加頂いた皆様から、議会に対するご意見や、市に対するご提言等を多数頂きました。

議会報告会アンケート調査にも、ご協力いただき大変ありがとうございました。

今回の議会報告会は、初めての開催で地区外に出席することで、各町が抱える諸問題を各議員が把握すること、議会に対する市民皆様の見方や、ご意見を伺う事を目的として開催いたしました。参加下さいました皆様方のご意見、ご提言を参考にさせていただきます。

8月26日（火曜日）脊振公民館を皮切りに、8月27日（水曜日）神崎庁舎3―3会議室、8月28日千代田庁舎2―2会議室、3地区で開催いたしました議会報告会に市民多数の皆様にご参加いただきました。ほんとうに有難うございました。心から感謝申し上げます。議会からは平成26年度一般会計補正予算及び神崎市の主要施策についての説明後、参加頂いた皆様から、議会に対するご意見や、市に対するご提言等を多数頂きました。

議会報告会アンケート調査にも、ご協力いただき大変ありがとうございました。

今回の議会報告会は、初めての開催で地区外に出席することで、各町が抱える諸問題を各議員が把握すること、議会に対する市民皆様の見方や、ご意見を伺う事を目的として開催いたしました。参加下さいました皆様方のご意見、ご提言を参考にさせていただきます。

さて頂きました今後の議会活動や市に対しての要望等々、質問を通じて実現させていくように、議会として努力してまいります。

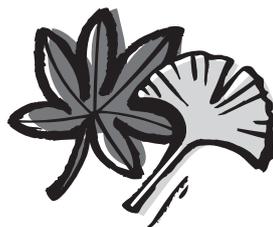
次回の報告会は平成7年度に今回の報告会でのご意見及びアンケート調査を参考にして開催させていただきます。

◎多くのご意見・ご要望のなかの一部を掲載します。

①脊振会場 空室対策・葬祭公園・土砂災害対策・脊振の現状（イノシシ被害対策、河川流木対策、過疎化対策）

②神崎会場 菱焼酎（栽培・収穫）・葬祭公園関係・土砂災害対策

③千代田会場 小中学生医療費助成・菱焼酎（栽培）・中心市街地整備・ダム関係・市営住宅関係・千代田の現状（少子化・クリーク・堤防歩道の除草）



議会運営委員会行政視察研修委員長報告

白石 昌利 委員長

去る8月18日・19日に、『議会活性化と開かれた議会を指した取り組みについて。』

『議会運営及び委員会運営について。』を、重点事項として、兵庫県小野市議会と大阪府高石市議会を訪問して視察研修を行ってまいりました。まず、兵庫県小野市議会について報告します。

研修内容は、議会活性化と開かれた議会を目指した取り組みについてを視察テーマとして、①議会改革・議会の活性化、②議会運営及び一般質問、③情報の共有・公開についての取り組みを伺いました。決算審議の議会改革では、藤本小野市議会議長が『そこが一番大きな改革ではないかと思っております。承認するだけではなく、議会も一緒にやっているとこの姿勢が非常に大切かと思ひながら見ております。』と述べられた、平成22年度から取り組まれていた決算研修会等のあり方が、神崎市議会において、市民目

線での審議結果の公表（採決）を見据えた取り組みとして、検討すべしと考へたところ

です。次に、大阪府高石市議会について報告します。

ここでは、議会運営及び委員会運営についてを研修テーマとして、①

一般質問通告書、②予算及び決算の審査方法、③一般

質問（時間配分や質問）に

ついての取り組みを伺いま

した。一般質問通告書につ

いては、議案数が多くなる

3月や9月の定例会での質

問者数では二桁の数の実績

があり、議会内での活発な

議論がうかが

えました。

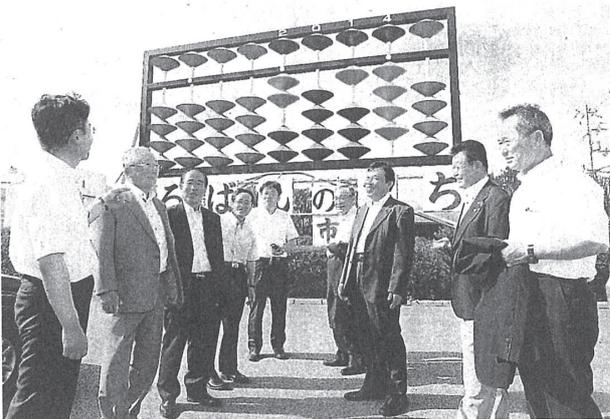
いずれの市議会において

も、議会活性化及び議会改革に取り組まれ、実績を積み上げられており、特に予算や決算の審議の進め方についても単に短期間化や簡略化ではなく、審議の活性化や審議結果（認定の時期）にも配慮されており、市民感情も意識した

神崎市議会の新たな審議方法について、調査・検討を深め議会改革に繋げていく視察研修となりました。今回の研修成果を活かし、『議会活性化と開かれた議会を目指した』議会運営に取り組んでいきたいと思ひます。

小野市の行政視察受け入れ 全47都道府県を達成

他の自治体からの行 18日、記録の残る20問がなかった、佐賀県から視察が多い小野市に 04年度以降、唯一訪 47都道府県からの視察受け入れが達成された。同市はさらに受け入れを推進しようと、全国の自治体に配布するためのパンフレットを9月に発行するとい



佐賀県神崎市会から視察に訪れた議員ら 小野市王子町

から団 佐賀県 訪問

多く約4割を占めるほか、行政経営に関する視察も多い。近年は「空じめ等防止条例」「空き家等の適正管理に関する条例」なども注目された。

県別では兵庫県内からの296件が最も多く、高知県の57件、滋賀県の28件と続く。12年度に群馬県から初の視察があり、訪問がないのは佐賀県だけとなっていた。

この日訪れたのは佐賀県神崎市会の議員らで、テーマは議会活性化だった。同市会運営委員会の白石昌利委員長は「事前に他市町にも打診をしたが、小野市会事務局からの返答には特に積極性を感じた」という。

現在、視察の多いテーマなどを紹介するパ

神戸新聞（2014年8月19日）に 神崎市議会訪問が記事掲載される。

ンフレットを作成中で、完成し次第、全国約1700の自治体に送る予定。今月開業したホテルなどの情報も掲載し、宿泊面での利便性をPRする。（吉田敦史）

市政を問う！《市民の声を》



一般質問



藤瀬 光正

市の基本計画について～今後の神崎市の方向性は

Q 質問 吉野ヶ里町、佐賀市との合併協議の進捗はどうか。

A 総務部長 松永 企画 吉野ヶ里町に今年度中に正式に打診した。

Q 質問 合併における首長の権限は大きい。メリットである行政の省力化を念頭に置き、

A 市長 精神的に推進していただきたい。合併特例債の期限を踏まえ、早めに結論を出していきたい。

Q 質問 人口減少対策について。住宅施策を推進し、成果につながる切れ目のない支援の施策・実施が必要では。

A 企画 総務部長 人口減少の要因としては少子・高齢化の進行と就業、雇用の場の確保が課題と認識し、これからの対策を進める

ことで定住促進を図っている。住宅政策については現在実施していない。

Q 質問 いい政策をやれば人口は増える。他市との格差を生み出し、住みたいと思われる魅力ある市にする政策を行ってほしい。

A 市長 まずは雇用の場の創出。企業誘致を推進し、住宅政策についてもその中で必要があれば考えていきたい。

Q 質問 太陽光発電の取り組みについて。千代田町の公有水面の利活用と公共施設への太陽光発電システム設置の考

A 企画 総務部長 総合計画に掲げている環境共生型社会の構築に向け、費用や構造上の問題を総合的に勘案しながら進めたい。またク

Q 質問 リークへの設置については今後、先進事例等により研究を行いたい。脊振の遊休地に設置したシステムについては、将来的な撤去を含めて事業者と責

A 市長 事業者とは誠意ある業務の履行を前提として契約を締結している。議員のご心配なさっていることがないよう申し入れはしていきたい。

その他の質問

・スポーツ公園・葬祭公園整備について。野球場建設は。

一般質問



白石 昌利

千代田中学校のグランド整備は急務

Q 質問 千代田中学校グランドは、少々の雨量があっても水捌けがよく、利活用に支障を来す

A 教育 長 千代田中学校グランドは、少々の雨量があっても水捌けがよく、利活用に支障を来すことが少ないグランドとして利用者に大変喜ばれていた。しかし、最近グランド東側の水捌けが悪く、体育の授業はもとより部活動、地域行事に支障をきたしている現状が有る為、グランド整備の改善は急務である。今後の整備計画等について考えを伺う。

A 教育 長 グランド東側の水捌けが悪いところの対策は、表土を入れ替える必要がある。梅雨時期、運動会の時期を避けた、9月中旬ごろから工事を始める予定である。

九州及び全国大会の誘致と実施整備

Q 質問 九州及び、全国大会を誘致できる様々な運動施設の拡充と整備について、活力あるまちづくりを目指し推進する観点から、各種スポーツ大会を積極的に誘致・開催をして、国際・国内のスポーツ交流の充実を図ることを提案する。又、

各種の全国大会や合宿の誘致活動を支援し、青少年をはじめ協議レベルの向上に寄与する為に、運動施設の拡充と整備が必要だがその考えを伺う。

A 市長 全国規模の大会誘致は大きい呼びかけ、実施したい。子どもたちの夢や希望、勇気を与え、そして技術向上の為に誘致・開催は非常に前向きなことだと思っ

Q 質問 ごみ処理の現状として、取り組まれているステーション方式は、「維持管理又は設置場所の確保が困難」、「利用者とのトラブル」、「集積場への不法投棄等」等があり、その要因として、利用者

A 市長 課題克服の為に、利用者のマナー向上や啓発を大きな目標高福として、処理場と強い連携を保ち、地区ごとの広報広聴に努めていく。

A 市民 部長 「民生委員協力員」制度又は、サポート制度の導入などを提案して市の考えを伺う。

A 市民 部長 民生委員さんの意見等を拝聴しながら制度導入を分析、研究していきたい。

A 市民 部長 課題克服の為に、利用者のマナー向上や啓発を大きな目標高福として、処理場と強い連携を保ち、地区ごとの広報広聴に努めていく。

市政を問う！《市民の声を》



一般質問



福田 清道

南部工業団地は 地域農業の発展 につながる企業 誘致を

Q 質問

市これまでの企業誘致は、特に地域農業との関連がなく、地域経済循環の観点からは反省すべき点があった。千代田東部地区は現在人口減少が続いているが、国道385号線を生かした町づくりに取り組めば大いに発展する可能性を秘めている。市の考えは。

A 総務部長 松永 企画

国道385号線沿いという交通便利性の良さと併せて、農作物の生産に優れた地域である特色を最大に生かせるよう、食料品製造業も優先順位の高い業種として位置づけている。地域との関連性のある業種を誘致することは、農業従業者の減少に歯止めをかけ、若者の定住促進にも寄与するほか、農商工業業連携による経済循環を生み、相乗効果を引き出すものと考え、最良の企業を誘致していきけるよう鋭意努力している。

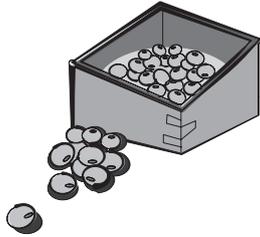
千代田地区に大豆の 調整乾燥施設建設を

Q 質問

政府は今後5年間で減反政策を止め、国民の主食である米の生産政策を放棄した。これほど無責任な態度はない、どの国でも国民の主食の安定的な確保政策は国の基本政策である。しかし米過剰の中、転作も必要である。そのため、大豆作付面積が増え、現在の神埼町にある施設では乾燥調整が間に合わなくなる。千代田町地区にも施設が新たに必要と思う、市の考えは。

A 農政課長 田中 水

施設整備が必要となったから、農家所得の安定を図るためにも必要な施設整備を関係機関と連携しながら準備し、補助事業等に対応できるように準備していく。



一般質問



宮地 明

国民健康保険税に 応能の原則は どう反映されて いるか

A 市長

応能割として所得割を50%、応益割として被保険者数に係る均等割を35%、世帯に係る平等割を15%と示されております。

Q 質問

国民健康保険税の所得割に累進課税的に定率をかけるんじゃないかと、それをだんだん所得が多くなるほど率を多くするというふうなかけ方はできるのか。

A 市長

お金が所得的に少なくなつた人に対しては、均等割で7割、5割、2割の軽減を行うことで、全ての方が国民健康保険税を納めるような形でこれまで動いてきております。

Q 質問

国保が赤字というけど、これは、民主主義の社会では議会を通じて、医者や製薬会社とか、その取り分を減らすという可能性もあるわけじゃないか。

A 市長

国の診療報酬額というのは、厚生労働大臣が決定するものと考えます。

Q 質問

最終的には国会になり議会なり、例えばこの市議会で議論していく中で、それで法律なり、でき上がったからそれで決まることではないですか。

A 市長

市としてはそういう特別会計の中で、適正な診療—医療費が増額しないように、予防なり、いろんな対策をやりながら適正な国民健康保険特別会計を行なうよう努めております。診療報酬の単価の問題については国のほうがその全てを全体の中で考えておられますので、市としては国民健康保険の特別会計の中で適正な運用をやっていくことで御理解いただきたいと思います。



国保窓口



市政を問う! 《市民の声を》



一般質問



野副 芳昭

神崎市の水道の老朽化対策はできているのか

A 市長
現在、佐賀東部水道企業団に業務移管し、年次計画を立て順次整備をしている。事故がないよう早急な対応の発言をする。

Q 質問
日常生活に欠かすことのできない水道であるが、水道整備の状況はどうなっているのか。

A 生活環境課長
神崎町と千代田町の上下水道は、市内全体で96%以上の給水普及率である。簡易水道は110戸の給水で、井戸水利用が598戸である。

Q 質問
全国的に老朽化した水道整備の事故があつている。神崎市内の水道設備の更新はどうなっているのか。

A 市民部長
神崎市内の水道事業について、上水道は東部水道企業団が運営し、市営の簡易水道として、脊振町の一部で給水している。脊振町のその他は井戸水利用である。老朽化対策については、企業団が事業計画を立て進めている。簡易水道は、企業団の技術

指導を受け進めている。

神崎市内の健康診断の受診率の状況

A 市民部長
過去3年間は、全体の30%台、神崎市は佐賀県下10市の17番目の受診位置にある。

Q 質問
健康寿命とはどういうことなのか。

A 健康課長
日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる生存期間である。

Q 質問
平均寿命と健康寿命の年齢とその差について市はどのように考えているのか。

A 健康課長
健康寿命は男性が約70歳、女性が約73歳である。平均寿命は、男性が約79歳、女性が約86歳で差は10歳前後になっている。この差が拡大すれば、健康な状態でなく、寝たきりなどの状況が長くなることになる。医療費や介護費の増加等につながる。早期発見、早期治療の為に健康診断の受診率向上に向けて努力していく。

神崎市 四か条の誓いの周知は

A 教育長
子どもから大人まで学校や家庭で学ぶべきものである。

一般質問



松本 軍二

医療行政および子育て支援について

Q 質問
日本再興戦略における「国民の健康寿命の延伸」のテーマのなか予防健康管理の推進として、27年度からの目標に指針も改正され、データヘルス計画が策定され、市の導入計画は。

A 市民部長
この計画は、医療保険者による予防・健康管理を推進する事にあつて、PDCAサイクルにより、保険事業を実施するものであり、今年度中に計画の策定に努める。

Q 質問
医療費通知は国の指導により、医療費適正化対策として実施されているが、医療費が増大するなか通知することにより費用対効果など、どのように把握されているのか。

A 市民部長
被保険者に健康や医療への関心を持ち国民健康保険制度の理解を目的とし、レセプト点検や嘱託保健師による、頻回受診者、重複受診者への受診指導を実施し削減効果あり。

Q 質問

高齢化社会が進む中健康寿命を延ばす事は、高齢者の喜びでもあり、医療費の抑制にも繋がり機能低下防止策として「基本チェックリスト」の判定により、要介護予備軍となった対象者へ「現事業への参加」を勧奨するも、集団への参加を拒む人も多く対象者の85%は不参加の状態であり、予備軍の予防の為に、柔道整復師会を神崎市介護事業への参入を提案する。

A 事務

柔道整復師会の事業参入を他自治体では実施されているが管内では未実施。厚労省では29年4月までの経過措置を設け、各自自治体に応じた取組みを可能とする総合事業へ移行され、中部広域連合では事業計画を策定中であり策定委員会において、柔道整復師会を含む供事業業者について検討されると考える。

Q 質問

高齢者とは対極にある少子化対策として、産前産後のケア体制の整備案として「ホームヘルパー派遣制度」の創設について。

A 事務

全国には派遣事業を実施している自治体もあり、一定期間の「身のまわり」を始め「生活必需品」の買い物などの世話は、今後ニーズが増えることも予想され、実施に向け検討する。

その他の質問

子ども、子育て支援事業計画の策定について

市政を問う! 《市民の声を》



一般質問



木原 憲治

防災チャンネルの設置について

Q 質問

現在市が設置している城原川の監視カメラの映像と、国土交通省が本庁前に設置している映像を併せて、ぶんぶんテレビで防災チャンネルとして24時間放映できないか、また映像の下部に文字情報として気象情報、道路交通情報、火災情報、気象特別警報、JR運行状況等テロップで流せるようできないか。

A 総務部 松永 永画 企画

市が設置している監視カメラは、脊振町高取山公園、朝日橋、協和橋、直島橋、の4カ所で、国交省で設置されている監視カメラが、日出来橋、協和橋付近の2カ所で、計6カ所で、河川の状態を監視している。現在ぶんぶんテレビ内でも、チャンネルを増やし、その増やしたチャンネルを防災チャンネルとして活用することを検討されている。またコミュニティチャンネルにおいて、現在町の話題や、防災情報を流しているのこちらのほうも活用していただきたい。

Q 質問

全国では消防団員の7割超がサラリーマンで昼火事に出勤できないとのこと、昼間の火災時の空白の時間をカバーする為、県庁内や佐賀市役所内に職員による消防団支部が結成されたが、本市において設置する計画はあるのか。

A 総務部 松永 永画 企画

今のところ市役所内に消防団支部は設置していないが、市職員の入団率は係長以下級で、73・6%で、火災時には出動して、地区の消防と一緒に活動を行っている。

Q 質問

全国的に減少傾向にある消防団員を、地域で応援し、士気の向上を図る優遇制度の計画があるのか。

A 総務部 松永 永画 企画

市だけでなく、現在佐賀県消防協会が主導となり県内の飲食店に協力をいただきながら優遇制度に取り組み、本市においても協力をお願いしたい。

その他の質問

- ・ふるさと納税の魅力アップについて
- ・国際国内交流事業について
- ・景観条例・迷惑条例設置について
- ・雇用促進住宅の今後の取り扱いについて

一般質問



中野 均

葬祭公園整備計画の対応について

Q 質問

6月市議会後の葬祭公園整備計画の進捗状況と関係集落との対応と今後の進め方、対策についてどのように進めて行くのか。

A 総務部 松永 永画 企画

8月29日に実施された跡地対策委員会の役員会での基礎調査の状況、協議内容、進捗状況等の確認を行なっている。

Q 質問

答弁を聞くと、具体的な取り組みは一つもでてこない。特に関係者・周辺の同意が必要になって来るが、市長はどのように考えているのか。

A 市長

今、地区の外周、凹凸部分すら明確でない、土地調査・測量をさせて頂き、配置計画案が出来たら、皆さま方に説明させてもらいたい。

クリーク機能保全対策について

水資源機構大詫間幹線水路から高田樋管まで排水路として利用している認可区域



認可区域外の排水路(高橋付近)

外の水路整備は、どのように対応するのか。

A 産業部 宇曾 建設 谷部 長

この水路は、下六丁、横武、本告牟田、高田の圃場整備事業で実施した重要な最末端の排水路で、広域的な排水機能を有しており、その隣接する土地に対しては浸水等の被害を起さないような措置を講じる必要がある。

Q 質問

クリーク防災機能保全対策工事費の事業費を「のり面崩壊」が大きく危険な箇所

A 建設部 産業部 長

御指摘のような大規模かつ緊急を要するのり面崩壊や陥没等の事案が発生したら、早急に実施に向けて県に要望していく。



市政を問う! 《市民の声を》



Q 質問
過疎化による人口減少で、水田、畑は管理が不十分となり、耕作放棄地が拡大している。イノシシが増加し

て、農作物の被害が拡大すれば営農意欲が減退して放棄地が拡大、悪循環となり、山間・山麓地域は壊滅的な状況となる、耕作放棄地防止対策についてどのように考えているか。

A 市長
本市においては、近隣市町とともに佐賀北部地域有害鳥獣広域対策協議会が設立されており適正かつ円滑な駆除を行っている。今後もイノシシ捕獲については、農作物被害の防止を図るため、猟友会による銃、ワナ等による駆除とあわせ、法改正で緩和された内容の周知を図り、猟友会、地域ぐるみでの捕獲を強化し捕獲数の増加を図っていく。

Q 質問
イノシシによる農作物への被害が年々増加し、被害が拡大している。その要因は①生息域の拡大②ハンターの高齢化・減少③過疎化、高齢化による耕作放棄地の増加であり、農山村の構造的な問題となっている。増加したイノシシを減らす抜本的な対策について、どう考えているか。

A 建設部長
地域ぐるみでの対策で、防止柵の点検又国、県の補助を活用し、被害の拡大防止を図って行きたい。

一般質問
廣瀬 恒明

『暴れん坊、イノシシの駆除対策捕獲の強化について』

その他の質問
改正鳥獣保護法に基づく今後の対策について
・ 難病患者への医療費助成対象の拡大は（難病関連2法難病医療・児童福祉法）

Q 質問
イノシシが道路の路肩、畦畔、山を掘り起し、掘り起さし、土石砂が散乱、土砂災害の要因となっており、その防止対策は。

A 建設部長
地域ぐるみでの対策で、防止柵の点検又国、県の補助を活用し、被害の拡大防止を図って行きたい。

Q 質問
イノシシが増加している。集落協定で放棄地防止は対策に取り組んでいる。又農作業受託組織の育成もある、条件が悪いほ場のままではなく、整備を行う事も必要、限界集落となる前に地域と話し合い、具体的行動を取って行く、市としても支援を行いたい。

A 産業建設部長
中山間集落は、農業者の高齢化に伴う営農意欲の減退、農地の遊休化により集落の活力低下が課題となっている。集落協定で放棄地防止は対策に取り組んでいる。又農作業受託組織の育成もある、条件が悪いほ場のままではなく、整備を行う事も必要、限界集落となる前に地域と話し合い、具体的行動を取って行く、市としても支援を行いたい。

一般質問
田原 和幸

『合併10周年を迎えるに当り、発信力の向上策について』

Q 質問
神崎市は、東洋経済新報社による「住みよさランキング」では、総合評価九州第5位、まだ上がる余地はあるが、公的統計を基に、5つの観点から、15指標を平均ランキングされたものですが、キングされたものですが、九州ナンバーワンを目指す気構えで市政運営に取り組みたい。

A 総務部長
松永 企画
九州ナンバーワンを目指す気構えで市政運営に取り組みたい。

Q 質問
昨年6位、本年5位の発表、十周年を迎えるに当り素晴らしい成果だと思ふ。今、九州ナンバー5というのが神崎市民で協働したブランドだ。そのブランドをみんなで背負っている事を、共有共感する様に、市役所に垂れ幕を下げてほしい、例えば、名札や名刺に『目指せナンバーワン（現在5位）』とか、窓口に大きく表示するとか。この様な事で職員や市民福祉部長も自覚や誇りを持ち、外から来る人との話題にもなる。「現在第5位」ブランドという発信力、誇らし

A 市長
市民と想いを共有できれば有難い。今、自己PR時代であり、試みてみたい。竹原地区に鎮座まします王仁天満宮の王仁博士、その功績、顕彰の公園整備を計画されているが、その前に取組を市内外に周知を図ることも早急に必要だ。現状は。

Q 質問
平成13年からのJR主催ウォーキングツアーで延べ3万人が神社を訪れ、毎年増加の一途です。これには竹原地区の皆様が自主的に「おもてなし」を行って頂き、年々内容も充実し評判がいいのも一因かと。又、近年韓国からのお客様も増加しています。

一般質問
田原 和幸

『合併10周年を迎えるに当り、発信力の向上策について』

A 市長
総合的に検討して進めたい。

Q 質問
霊雲郡で若い新郡主から気持ちのいい接遇を受け、新展開が生まれる予感がしたが。

A 市長
顕彰公園整備に非常に興味を持たれ、今迄以上、一層交流を深めたいと合意した。王仁博士の周知、公園整備の周知ツールに、ワニのゆるキャラ作成を提案する。

Q 質問
偉人に失礼があつてはならないが、視覚的にワニ、クロコダイルを連想させるインパクトのある「ゆるキャラ」を活用しては。

A 市長
竹原地区に鎮座まします王仁天満宮の王仁博士、その功績、顕彰の公園整備を計画されているが、その前に取組を市内外に周知を図ることも早急に必要だ。現状は。

一般質問
田原 和幸

『合併10周年を迎えるに当り、発信力の向上策について』

市政を問う! 《市民の声を》



一般質問



原 信義

広島市の土砂災害から教訓を学び、災害に強いまちづくりを

Q 質問 8月の広島市土砂災害は甚大な被害を出した。ここから教訓を学び、災害に強い神崎市のまちづくりが急がれている。本市の土砂災害防止法による警戒区域指定はどうか。

A 産 業 部 長 宇曾 建設 土砂災害危険箇所302カ所のうち警戒区域に81カ所、特別警戒区域に79カ所指定されている。

Q 質問 脊振の宅地開発地区、いわゆる100円住宅団地の災害は大丈夫か。

A 建 設 部 長 産業 4カ所のうちグリーン原中原リバーサイド池の平の2カ所(23戸が対象)の警戒区域等の指定準備を行っている。

Q 質問 ハザードマップ、防災マップは住民に徹底しているのか、改善の必要はないか。

A 総 務 部 長 松永 企画 企画 ハザードマップは19年6月と平成25年に全戸配布している。今後も防災訓練などを通じて周知徹底を行っていく。

Q 質問 新聞報道では「避難勧告、動かぬ住民」と言われているが、危険性が関係住民に徹底していないからではないか。

A 建 設 部 長 産業 警戒区域指定で土地利用に制限、経験不足による危険性の実感不足、土砂災害に関する技術者不足が考えられる。

Q 質問 市内公園にもつと予算を投じ、子どもからお年よりまで利用しやすい公園へ!

A 建 設 部 長 産業 市が管理責任をもつ公園の中には、雑草の生い茂っているところが何箇所もあり、全体として公園管理が行き届かず、仏つくつて魂入れずの状態。樹木の木陰もない公園は、公園と言えないのではないかと。

A 建 設 部 長 産業 地元住民を対象とした公園の一部には日陰となる施設や高木植栽等が少ないところもあるので今後適切な管理に努力。

Q 質問 日の隈山頂上のHKK等市46年間も無償というのは法的にも、市民の利益、感情にもそぐわない。再検討を。

A 市 長 松本 常にかねてから仕事などで、そういったこと(再検討)はさせていた。

一般質問



西原 正剛

中地江川改修について

Q 質問 近年、ゲリラ豪雨、梅雨の長雨等により西郷地区の内水面の排水が非常に悪くなっている。小松川の改修も行われているが、本流中地江川の姉川橋上流の今後の計画はどのようなものか。

A 産 業 部 長 宇曾 建設 中地江川改修については、東部土木事務所に伺ったところ、姉川橋より上流の区間については、現在、佐賀国道事務所が進められている姉川橋橋梁工事が完了後、平成二十八年度から上流部の河川工事に着手する予定と聞いている。

Q 質問 JR上流の改修予定はいつだにあるのか。

A 建 設 部 長 産業 現在のところ、鉄道橋から上流の区間の改修計画はないと聞いているが上流においてたびたび浸水被害が発生していることは、河川管理者である県も十分認識している。浸水被害

の不安を一刻も早く解消出来るよう上流部の早期の事業着手を要望したいと考えている。

Q 質問 平成二十七年以降、新介護保険制度の概要・対策について、介護認定度3以上の対処施設は神崎市内で何か所あつて、定員は何名なのか。

A 福 祉 部 長 園 特別養護老人ホームであり、市内には3施設が設置されていて、定員はそれぞれの施設も50名、すべて万床と聞いている。

Q 質問 介護認定度2以下の方々の処遇・対処は。

A 福 祉 部 長 現在、要介護1・2の状態に入所されている方もしくは、要介護3以上の方が1・2に改善された場合であっても引き続き継続入所を可能にする措置が設けられていると聞いている。

その他の質問

- ・合併優遇普通交付税減額に伴う経費削減
- ・公園管理費等





市政を問う! 《市民の声を》



また、各校の取組みとして、飲酒運転撲滅実践計画の作成と本人の飲酒撲滅の誓い、教職員の服務規律の保持についての和読、(飲酒を伴う会合は原則として休日前に行う)・(22時までに飲酒の会合を終了する)・(公共交通機関や代行運転利用を確認する)・(翌朝アルコールが残っている場合は運転をしない) こういったことを取り決めていた。

A 方部長 教 育

佐賀県教育委員会からの教職員の服務規律の保持の通知を受け、信用失墜行為、特に飲酒運転等がないよう

8月22日に市内の中学校に勤務する教職員が酒気帯び運転の現行犯で逮捕される事案が発生したが、教育委員会及び市職員についてどのような指導をされていたのか。

Q 質 問



一般質問

野口 英樹

飲酒運転をなくすために

A 企 画 総務部

全職員に対し朝礼やグループウェアの掲示板等で注意喚起を行い、常に公務員であることの自覚と責任をもって行動するよう促している。また、平成18年8月の福岡市職員の飲酒運転で幼児3人を死亡させる事故後、市職員の交通違反に対する懲戒処分に関する基準を見直し、酒気帯び運転や飲酒運転の車に同乗したときも、酒気帯び運転と同じく免職処分とするなど、飲酒運転を行った場合等の懲戒処分の基準を厳しく改正した。

Q 質 問

市職員の交通違反に対する懲戒処分に関する要綱第8条(減免規定)①事故の発生原因及び発生状況、②市に与えた損害の程度③刑事処分の有無及び量刑④本人の事故歴、違反前歴及び平常の勤務成績などや非行後の対応とあるが、減免規定と言う甘い規定があるから飲酒運転は無くないのではないのか。

A 副市長

不祥事を起こした職員の懲戒は、きちんと厳しくするのが基本です。懲戒免職の権限は市長にあり、個々の事情を踏まえて、総合的に考慮の上、判断している。

その他の質問

・ 地区内の水路・堀の環境とのり落ちについて

《議会の動き》

- 7月1日～2日 防衛省全国情報施設協議会役員会(宮古島市)
- 7月3日 全員協議会
- 7月11日 議会広報編集特別委員会
- 7月16日 総務常任委員会
- 7月18日 文教厚生常任委員会
- 7月18日 議会広報編集特別委員会
- 7月25日 文教厚生常任委員会視察研修(武雄市武内小学校)
- 7月25日 議会広報編集特別委員会
- 7月30日 総務常任委員会
- 7月31日～8月1日 防衛省全国情報施設協議会総会(東京都)
- 8月1日 佐賀県市議会議員研修(唐津市)
- 8月4日 産業建設常任委員会
- 8月7日 全員協議会
- 8月18日～19日 議会運営委員会視察研修(兵庫県小野市・大阪府高石市)
- 8月21日 総務常任委員会
- 8月25日 文教厚生常任委員会

- 8月25日 議会運営委員会
- 8月26日～28日 議会報告会(脊振町・神埼町・千代田町)
- 8月28日 産業建設常任委員会
- 9月5日～24日 第3回定例会
- 9月10日 議会広報編集特別委員会
- 9月17日 予算特別委員会
- 9月18日 文教厚生常任委員会
- 9月18日 産業建設常任委員会
- 9月18日 文教厚生常任委員会
- 9月18日 産業建設常任委員会
- 9月19日 総務常任委員会
- 9月19日 議会改革検討特別委員会
- 9月19日 総務常任委員会

《議会のこれからの動き》

- 11月6日～11月14日 決算特別委員会予定
- 11月10日 議会改革検討特別委員会 分科会開催予定

議会改革検討特別委員会

市民の付託に応えられる議会活動、議員活動の実現を目指し、議会改革に関する事項の調査・検討を実施します。

委員長 山口 義文

副委員長 松本 軍二



議会改革検討特別委員会（小委員会委員）

役職	氏名	役職	氏名		
委員	山口 義文	特別委員会委員長	委員	松本 軍二	特別委員会副委員長
〃	白石 昌利	議会運営委員会委員長	〃	山田 一明	議会運営委員会副委員長
〃	中野 均	第1分科会会長	〃	田原 和幸	第1分科会副会長
〃	廣瀧 恒明	第2分科会会長	〃	野副 芳昭	第2分科会副会長

議会改革検討特別委員会（分科会会員）

(第1分科会)				(第2分科会)			
役職	氏名			役職	氏名		
会長	中野 均			会長	廣瀧 恒明		
副会長	田原 和幸			副会長	野副 芳昭		
会員	藤瀬 光正	野口 英樹		会員	西原 正剛	宮地 明	
	白石 昌利	山田 一明			箕原 忍	原口ひさよ	
	山口 義文	木原 憲治			永沼 彰	佐藤 知美	
	松本 軍二	福田 清道			片江 護	原 信義	

委員長	野副 芳昭
副委員長	中野 均
委員	西原 正剛
委員	山口 義文
委員	野口 英樹
委員	佐藤 知美

全国火災予防運動



収穫の季節となりましたが、今年の夏は、長雨と低温で米、大豆、野菜等の収穫減少が予想されましたが、皆様はどうだったでしょうか。

米の収穫後は、麦の種蒔き等で大変忙しい時期になりますが、体調に気をつけて農作業を行なって下さい。

さて、二年ぶりの広報編集委員となりましたが、編集にあたっては、写真やカット・イラストなどを多く取り入れて、見やすい議会だよりの編集に努めますので、ご意見等を聞かせて下さい。

(記 中野 均)

編集後記